

□日時：2020年（令和2年）9月20日（日）10時～16時半

□場所：ウエルパークまもと（熊本市中央区大江5丁目）イベントコーナー・会議室

## 第12回「ピースくまもと」設立準備会事務局会概要報告

9/28版

- 1 開会挨拶 ……ピースくまもと設立準備会 事務局代表 小山和作  
本年は戦後75年節目の年であり、8月に県知事への文書提出、大西市長への面談を通しての活動支援のお願いを行った。熊本市域への資料館の設置に関して、具体的な場所や募金等についてもご意見を下さい。



小山和作代表の挨拶

- 2 参加者自己紹介（各自の近況・活動状況等を簡単に紹介してください。）

※順不同敬称略）

□出席：小山和作、安藤富士記、上村真理子、宮川和夫、上田欣也、矢加部和幸、山野幸司、吉田正昭、高谷和生

□欠席：久米野安俊、有馬信一、三隅康資、高野誠二、永田 昭、末永崇、二見正輝、勝又俊一、多田喜一郎、戸崎孝行、伊藤利明、堀 浩太郎、赤瀬 恵、青木 栄、宮本英一

□オブザーバー参加：船崎三義、乃美勝彦、中宮俊幸

※午後からの参加 熊本県社会福祉課の河端剛毅主任主事、熊本市政策局総合政策部政策企画課の吉坂副課長、教育委員会事務局教育総務部熊本博物館の坂本康祐館長補佐

□オブザーバー欠席：本田清悟、中山 直、鄭 一止、黒木伸男、児玉 望、中熊慎一

### 3 午前の部 概要報告・各部会協議

#### (1) 大西熊本市長への本会活動支援のお願い

※資料4・熊日記事

○日時：8月6日（木）10：30～11：00 市長公室

○対応：大西市長・井芹政策局総括審議員

○出席者：小山・安藤・上村・高谷

○概要：①1945年8月10日新発見の空襲資料発見の報告  
戦跡ネット『空襲下の熊本』『軍都熊本の残像』リーフ贈呈・各250部

②yahoo! japan「未来に残す 戦争の記憶」内  
「幾度もの爆撃を生き延びて熊本空襲」DVDの贈呈・20枚

○利用等：市内各小中学校配布済み、市立図書館・図書室で貸出開始



午前中の各部会協議の様子

#### (2) 蒲島熊本県知事への本会活動支援のお願い

※資料5

○日時：8月5日（水）9：30～10：00 課内控室

○対応：永野課長・高島課長補佐・河端主任主事 ○出席者：小山・安藤・高谷

○概要：①リーフ贈呈・各250部②DVDの贈呈・5枚

○利用等：県博物館ネットワークセンター、教育庁文化課に手渡し関係機関へは配布済み

#### (3) 「戦後75年」取り組み、報道等

○熊日「くまもと戦後75年」企画、熊日「記憶の足跡」企画 他

○平和憲法の会『熊本空襲の実相を後世に』、高谷『くまもとの戦争遺産』

○くまもと戦跡ネット「8. 10大空襲 写真18枚発見」「米海兵隊が見た熊本・終戦後の恵楓園映像発見」、花房未来の会「世代超え平和誓う」他

#### (4) 「熊日戦後75年 くまもと戦争遺産をめぐる旅」について

※資料3

○9/27・10/11に熊日との共催で実施予定。熊日紙面での社告・広告・記事体で紹介を行い、見学会18名、事前セミナー25名程度。実績を残す観点から実施へ

#### (5) 「熊本に戦争と平和のミュージアム設立に向けて」各部会協議

##### ア 事務局からの各部会協議前の説明

○「熊本に戦争と平和のミュージアム建設を呼びかける会アピール・趣意書（案）」資料1  
ピースあいち趣意書案を永田・三隅・高谷で加筆修正して原案提示。ただしこれには令和元年11月吉日作成の小山代表趣意書案、平成30年5月13日の事務局会発足時の「戦争と平和のミュージアム“ピースくまもと（仮）”設立骨子（案）」内容は反映さ

れていない。

- 「熊本に戦争と平和のミュージアム設立の基本構想（案）」 資料 2  
ピースあいち基本構想案を永田・三隅・高谷で加筆修正して原案提示。B・C部会協議の参考資料としてほしい。細部内容は次回以降で確認予定。

#### イ 各部会ごとの協議

**A部会：コンセプト** ……参加者 小山・矢加部・高谷

□担当者 [◎三隅・堀・矢加部・戸崎・永田・青木・平野]

**B部会：調査・展示・保存** ……参加者 上村・吉田・山野・中宮

□担当者 [◎上村・赤瀬・伊藤・山野・末永・二見]

**C部会：体制整備** ……参加者 安藤・上田・宮川・乃美

□担当者 [◎安藤・上田・高野・宮川・勝又]

#### 4 午後の部 各部会報告・全体協議



左端：午後全体会での各部会協議内容の報告  
中央右：熊本市政策企画課の吉坂副課長

アドバイザー参加 中央左：県社会福祉課の河端主任主事  
右端：熊本博物館の坂本館長補佐

#### (1) 各部会からの報告と意見交換

##### ア A部会：コンセプト

- **活動趣意書（案）** ……平和だけでは戦争実相を示せないのので「戦争と平和の資料館・ミュージアム」、日本の戦争の流れからして太平洋戦争ではなく「アジア・太平洋戦争」、各種の宣言等でも利用されている「さきの大戦」「子どもたち」「終戦」として標記する。5/13 設立準備会発足時の三項目を挿入し、小山さん私案文面等も参考とする。
- 現状理解として、愛知県には「NPO法人が設立したピースあいちと公設資料館である愛知・名古屋 戦争に関する資料館」が連携し、平和希求の活動を広げている。「岡山市では岡山空襲展示室」の現状等を紹介する。また、熊本県内では「市民グループによる菊池飛行場ミュージアムや荒尾二造平和資料館が相次いで設立され、錦町では人吉海軍航空基地資料館が開館しました。
- 熊本の特殊性としては、国内最後の内戦である西南戦争、日赤発祥の地、軍都の項を説明し、国際性としてはSDGsの視点でも今後活動への展望を述べる。
- **基本構想・活動方針（案）** ……「設立の趣旨」は、今回協議内容を要約して入れる。「施設の目的と機能」は、箇条書きにして項目をまとめた。「施設の特徴と性格」は、熊本の地域特性を前項に入れ、コロナ災禍のなかでの次世代の子ども達へのICT利用を促進する。「展示構成」では、本日のB部会案の協議内容を基にして再構成する。
- インターネット利用では、「ピースくまもとHP」内で上村さん戦時資料約250点の紹介を既に行っている。宮崎県「宮崎の戦争記録継承館」、長崎県「長崎県の戦争遺跡・遺構」を参照して、さらにバーチャルミュージアム機能を進める。
- どの様な館を目指すのかは、館特徴にも関わるので、さらに内容を精査して、**公共施設との分化**を示していくべきではないか。
- ブーゲンビル島等での多くの戦没者や、熊本空襲での犠牲者を慰霊するためにも、設置規模は検討を要するが「**常設**」資料館が必要である。

##### イ B部会：調査・展示・保存

- **展示「三本の柱」の具体化**。この内容は「Ⅰ熊本空襲と戦争遺跡、Ⅱ軍都熊本の戦争の歴史、Ⅲ昭和戦争時代」として分類した。ただ、Ⅳ項目として「戦後の事、現在の平和活動を行っている若者の紹介」も入れてみたい。
- **Ⅲ項目の下位項目は以下の9項目の通り**である。①軍国少年少女の育成、②徴兵制度・兵隊と戦争③銃後の女性の役割、④メディアの役割、⑤政府・軍の世論操作、⑥戦争

- 資金調達、⑦昭和戦争時代の地図・掛図、⑧日本植民地時代の朝鮮・台湾と傀儡国家の満州国、⑨戦争時代の人々の暮らし ※上村さん資料を中心とする。
- 展示手法に関しては、来場者に視覚聴覚にうったえる手法が必要だし、全ての資料がインターネット上から検索し、内容を閲覧できるような工夫も必要である。
  - 熊本空襲では平和憲法の会での空襲取り組み集約（年表と空襲証言等）、戦争遺跡ではくまもと戦跡ネット集約資料（熊本県内の戦争遺跡7項目）、ブーゲンビル島会資料（約243点）の集約を進める。また、シベリヤ抑留、満蒙開拓団、加害歴史としての軍人日記も引き続き検討する。
  - 調査研究、資料収集・保管、情報センター機能、アーカイブ機能は別途で協議
  - 既に2年間にわたり、くまもと戦跡ネットと熊本市教育委員会が両主催、ピースくまもと設立準備会が協力し、大江の熊本市図書館で夏の平和展を開催し、上村さん戦時資料紹介、熊本市内戦争遺跡の紹介を行っている。

## ウ C部会：体制整備

- 本日のA・B部会の協議内容を基にして事務局体制、運営資金整備等の具体化を進める。
- 事務局活動拠点として、熊本市「石光真清生家記念館」等の検討を進めていきたい。
- 候補地として、水前寺体育館跡、熊本城内、市内のイベント施設、市内の有休・休校施設、新熊本市庁舎をさらに検討したい。但し、熊本城内は特別史跡内であり困難か。
- 趣意書に同意いただく「呼びかけ人のリスト」の提示を次回から進めたい。
- 当初からの理想建物スタートか、小規模な施設・部屋からの当面スタートなのかを検討していきたい。 ※
- 女性や時間的にゆとりのある方で、思いを同じくする方に呼びかける事で、民間主導での具体的計画が進むのではないのか。
- 建設募金の受け皿となる法人化が必要であるので、手続き内容や調査を進める。

## エ 県・市からのアドバイス

- 県社会福祉課の河端主任主事  
県に対しての活動内容の要望事項を明確にし、より具体化することにより、関係する県主管課等との連携ができるのではないのでしょうか。
- 熊本市政策企画課の吉坂副課長、熊本博物館の坂本館長補佐  
所蔵する展示資料の全容を示し、設置建物の必要性を示していただくと理解がしやすい。これらの資料の県域・市域での仕分けや、館への寄贈により支援を行うことも可能です。

## (2) 全体協議と確認

- ア アピール・趣意書（案）の確認  
次回で修正分を提示予定
- イ 事務局から今後の方向性等
  - 「ピースくまもと設立準備会 事務局会協議計画（案）」20200920版 ※資料6
  - 「熊本に戦争と平和のミュージアム」設立イメージ図」20200920版 ※資料7

## 5 連絡事項、その他

- 次回「第13回ピースくまもと設立準備事務局会」は「10月25日（日）」「午前：趣意書骨子完成・ウエルパルクまもと会議室」にて協議。「午後：熊本市博物館戦争関連展示等の確認及び熊本空襲関連現物資料、戦時資料」を実見の予定  
※調査のための申請書提出、自家用車乗り合わせの検討



上村真理子副代表の挨拶

## 6 閉会挨拶

……ピースくまもと設立準備事務局会副代表 上村真理子  
午前中から長時間にわたり活発な協議をいただきありがとうございます。スピード感を持って具体的な内容協議を進めていきましょう。県・市からは貴重なアドバイスをいただき感謝申し上げます。



### 連絡先

ピースくまもと設立準備会 事務局 高谷 和生  
 自宅 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5  
 個人携帯 090-1513-5528  
 Eメール takayanagi912@yahoo.co.jp  
<https://kumamoto-senseki.net/peace-kumamoto/>